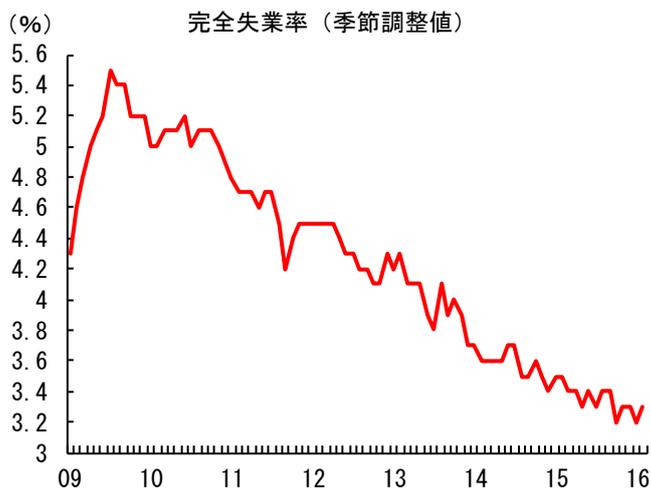


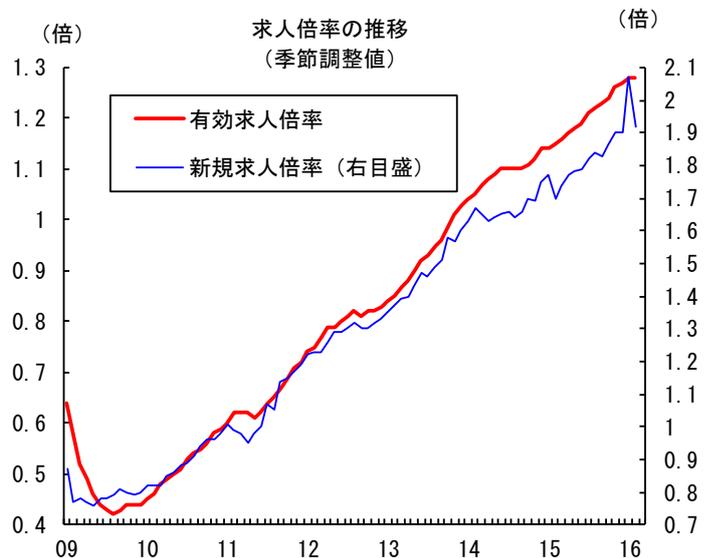
テーマ：労働力調査・一般職業紹介状況（2016年2月） 発表日：2016年3月29日（火）  
 ～雇用情勢は引き続き良好～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 担当 主席エコノミスト 新家 義貴  
 TEL：03-5221-4528



（出所）総務省統計局「労働力調査」

（注）2011年3～8月は、補完推計値を用いた参考値



（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況」

## ○就業者数、雇用者数は前月の反動から減少も、増加傾向維持

総務省から発表された2016年2月の完全失業率は3.3%と、前月から0.1%ポイント悪化した（市場予想：3.2%）。季節調整済みの就業者数が前月差▲58万人（1月+61万人）、雇用者数が前月差▲14万人（1月+50万人）と減少しており、全般的に前月から悪化。もっとも、就業者数、雇用者数については1月に異様な急増をみせていただけに、2月に反動が出るのは織り込み済みだ。前月から悪化した失業率についても、3.3%という水準自体は非常に低く、労働需給の引き締まりが示されている。雇用情勢は引き続き良好と判断できる。

## ○ 求人は堅調持続

厚生労働省から公表された16年2月の有効求人倍率は前月と同水準の1.28倍、新規求人倍率は前月から0.15ポイント悪化の1.92倍となった。新規求人倍率の急低下が目を引くが、新規求職者数の急減を背景に1月に不自然な急上昇（12月：1.90倍→1月：2.07倍）をしていたものが元に戻っただけだ。1月の上昇については、季節調整が上手くかかっていないことが影響しているのだろう。

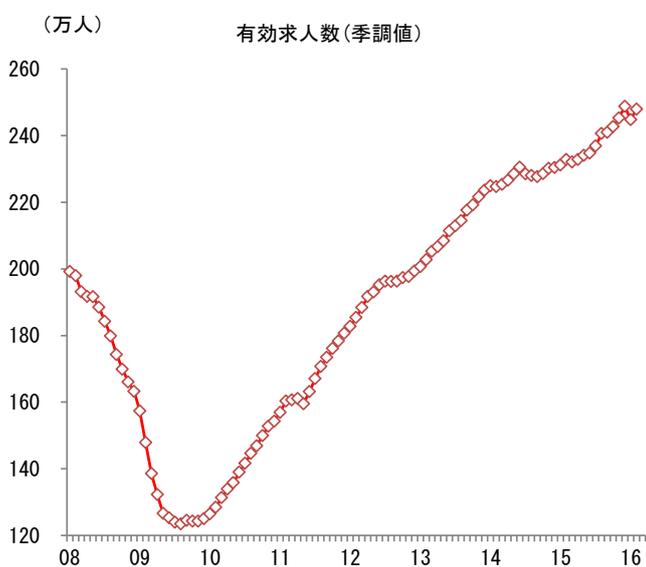
また、より実態を示す新規求人数では前月比+1.7%（1月▲1.0%）、有効求人数は前月比+1.3%（1月▲1.6%）と増加していることから見ても、求人動向は引き続き好調と判断して良い。景気低迷が持続する一方で、雇用情勢は未だに崩れる気配を見せていない。



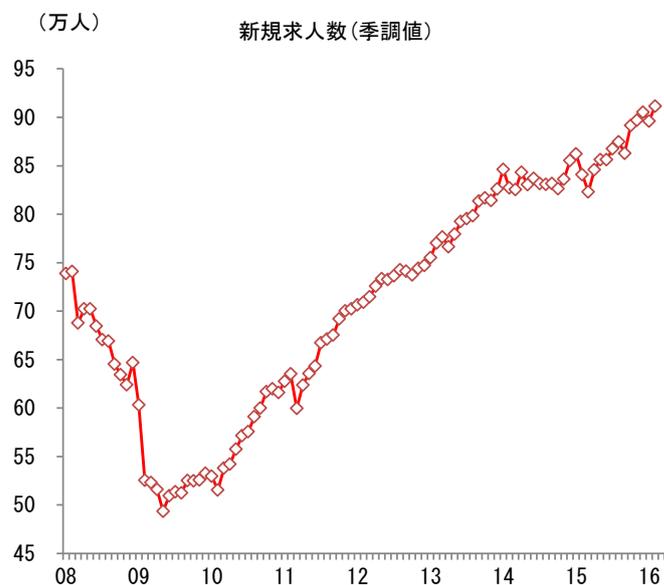
(出所) 総務省「労働力調査」



(出所) 総務省「労働力調査」



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」